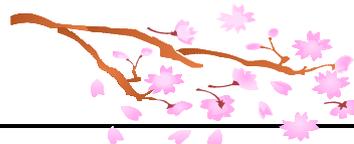




令和5年2月27日
学校だより第50号
南魚沼市立八海中学校

令和4年度も残り1カ月となりました。3月3日(金)には、第5回卒業証書授与式を開催し、102名の生徒が旅立ちを迎えます。新しい世界に旅立つ心境は、常に希望と不安がよぎります。義務教育で培った知識と多くの方々からの支えを胸に、勇気をもって一步を踏み出してほしいと願っています。

「仕付け糸」をはずすとき



卒業式の中でも、卒業証書授与は最も大切な場面です。学級担任は、卒業生一人一人を呼名するとき、その生徒との思い出がよみがえります。これまでの活躍への賞賛と感謝、未来へのエールを呼名に込めます。それに応えるかのように、卒業生の返事、気を付けの姿勢、眼差しには、彼らの素直な気持ちと決意がにじみ出ます。その卒業生の美しい姿を目にするとき、「躡(しつけ)」という文字がよぎります。卒業生の立ち居振る舞いが「躡」という字と重なるからです。

「躡」という漢字は、日本で考案された文字です。「身」と「美」から分かれるとおり、振る舞いや身だしなみを美しく保つという日本文化を表す美しい字と感ずります。また、「しつけ」という言葉は、もともとは「着物を仕付ける」ということに結びついています。着物の形が整うように仮に縫い付けておくことで着物が完成します。しかし、その仕付け糸はやがてはずされることを前提としています。子どもの教育も、家庭でのしつけを土台に、園・小学校・中学校の集団生活において必要なルールやマナー、思いやり、人としての基礎基本にかかわるしつけを行い、やがて成長した大人として自立していきます。

中学校の卒業式は、「中学校の仕付け糸」をはずすときでもあります。一人一人の生徒が、目に見えない仕立て糸を自身でつなぎ、自分で決めた道のスタートラインに立つ姿を、皆で応援し祝福する場となります。保護者の皆様にとっては、「人生の仕付け糸」をはずすときは、もう少し先であるでしょう。しかし、自立に向かっていく我が子の姿を幼少期と重ね合わせながら、そのときが近づいていることを実感する式になるのではないかと思います。

誰もが、親からの人生最初のプレゼントは名前です。その15年後、義務教育修了を告げる卒業式の呼名は、学級担任の冥利に尽きますが、保護者の皆様の想いを重ね合わせた卒業式になるよう準備を進めてまいります。



※学校評価の結果(要約)を別紙にまとめました。合わせてご覧ください。

第2回生徒総会～バトンをつなぐ～

1月31日（火）、今年度の生徒会活動の総括となる第2回生徒総会が行われました。総務、各委員会、部活動の活動報告と課題が示され、活発な質疑応答が行われました。

計画は確実に実行することが大切ですが、それを評価し課題を見つけ出すことはさらに難しいです。総会要項には、具体的に課題が示され、次年度に引き継がれています。

総会終了後、次年度の総務、委員長の委嘱と引継式が行われ、新リーダーが出揃いました。



学級討議の様子



真剣な質疑応答

ファイルで引継ぎ

3学期も充実の取組



1年生 キャリア教育（職業ガイダンス）



2年生 修学旅行説明会



1年生 性の指導（思春期）



3年生 感謝清掃



3年生 卒業合唱練習

《八海中生の活躍》

《魚沼四市二郡新人クロスカントリー競技》 <2月14日（火）>

○中学2年男子（十日町市吉田クロスカントリー競技場）

小倉 5kmCL 10位、5km FR 9位

高橋 5kmCL 13位、5km FR12位

